

相模原市青少年指導委員
広報誌！



第66号

相模原市青少年指導委員
連絡協議会

発行編集 広報部
発行責任者 市丸克己

はげいとう



特集

コロナ禍から一歩前進！

今、なにやっているの？



■はげいとう の名称について

1968年青少年指導員制度が制定され、同年9月、『青少年の家』で宿泊研修が行われました。青少年の家の庭に咲いていた『ケイトウ』の花が夕映えに輝き美しかったことや、ゲーム研修での『土びん、茶びん、はげ茶びん』が楽しかったことを忘れずにこの思いから、広報誌を作成するにあたり、『はげいとう』と名付けられました。



この一年を振り返って

連協本部役員の皆さんにこの一年を振り返っての想いをいただきました。

皆さん、元気に活動出来ましたか？

会長 市丸克己

今期も半分が終わりましたが、皆さんは思うように活動出来ましたか？

本部も色々な課題・問題点に取り組んでいます、ここまでの活動を振り返ってみました。

1. 元気に明るく楽しくそして安全に活動しよう！！

- ・スポーツフェスティバルの参加：10月10日(月)ギオンスタジアム
- ・親子ふれあいの広場への参加：11月13日(日)横山公園
- ・子どもの遊び場事業への参加：10月29日(土)緑区
(雨天中止：南区・中央区会場)

※コロナ予防対策を徹底し、沢山の参加を頂き楽しく実施出来ました

2. 常に次世代育成を意識して、自らも成長して行こう！！

- ・新人研修の実施：6月4日(土)
- ※好評でした。今後の活動に期待しています

3. タイムリーな情報の共有化を目指そう！！

- ・号外(特別号)発行しました：6月、2月、3月
 - ・Twitter 立ち上げました (多くの投稿を頂いています)
- ※色々なご意見ありがとうございました。今後もタイムリーな情報発信をしていきます

4. 地域をより理解し、スムーズな組織運営を目指そう！！

- ・『役員選考委員会設置運営要領書』の見直し委員会を設置して答申頂きました。
(7月11日スタート～12月提出) 委員会の皆さんありがとうございました。
- ※現在総会提案に向けて検討・整理中です

等、簡単に振り返ってみました、取り残した課題問題点がまだまだ沢山あります。

後半に向けて本部役員一丸となり、活動に取り組んで参りますので、皆様の積極的なご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

健康に留意してコロナに負けない元気に明るく楽しく安全な活動を展開していきましょう。



この1年を振り返って

研修部長
本郷永子
(星が丘)



少しずつ日常を取り戻し、活動の広がりを感じることができた年でした。

新人さんの不安を受け止めるために開催した「新人研修」に於いては概ね好感触。

研修部としての新たな取り組みについては、ワクワクできるように考え、部員間の親睦は部会を重ねるごとに深まっているように感じます。

とても、嬉しいです。

事業企画部の底力

事業企画部長
伊藤時彦(大野南)



ここ3年間、新型コロナウイルスの影響で、青少年指導委員として子どもたちを集めての事業が少なくなりました。

そこで部員の皆様に子ども向けの作品の宿題を出したところ、出てくるは、出てくるは・・・いずれも子どもたちが喜ぶもので驚きました。

まさに事業企画部員の底力です。

いろいろはじめました～♪

広報部長
齊藤一城(大野中)



何が出来るんだろうと考えていたのは一年前。

でも、考えているだけじゃ何も始まらないと、「タイムリーな情報発信」の号令のもと、新たに Twitter はじめました～♪、号外(特別号)はじめました～♪、更には青少指のHPも検討中です。今期の初めには青少指のガイドブックも発行しましたので、なんだかんだで皆さんのお役に立ってくれば広報部一同の励みになります。

安心・安全な活動のために

事務局長
入江康典(上鶴間)



世の中は「with コロナ」へ向かっています。一方、子どもたちの活動の場、わたしたちの議論の場などが安全・安心、かつ円滑な活動を継続するために、この一年間、とても苦労したと思います。

感染予防策は徐々に緩和の方向ですが、地域の子どもたちやそのご家族のみなさんにとってわたしたち青少年指導委員が市中感染拡大の原因とならないよう、最大限の「模範」であり続けることを引き続き大切にしてまいりましょう。

特集

コロナ禍から一歩前進！

今、なにやっているの？



Aブロック：相原、橋本、小山、大沢

Bブロック：清新、中央、横山、大野北

Cブロック：星が丘、光が丘、陽光台、上溝、田名

Dブロック：新磯、麻溝、相武台、相模台

Eブロック：大野台、大沼、大野中、上鶴間、
大野南、東林

Fブロック：津久井、城山、相模湖、藤野

コロナ禍で人数制限や感染対策など、新しい形の取り組みの中で、各地区の活動が増えてきています。でも、どういう風にどんな事をやっているのかな？と気になりますか？そこで各地区に「今、なにやっているの？」と聞いてみました。

相原地区 ★筆跡診断って知っていますか

みなさん、筆跡診断をご存じでしょうか。日常的な行動から、その人の性格がある程度判断できますね。筆跡診断とは、筆跡からもその人の性格が判断できるという考え方にに基づき、文字を見て性格を診断するものです。

判断する項目は、「接筆^{せつぴつ}…縦線と横線のつなぎ目は、どうなっているか」「転折^{てんせつ}…角が丸いか、角張っているか」など、全部で8つあります。

相原地区では、1月末に「親子で筆跡診断・元気になれる文字を書こう」と題した事業に参加しました。講師は、筆跡診断士の方にお願ひし、3人の方が来てくださいました。

当日は、寒い中にもかかわらず、親子で24名の参加がありました。

みなさん、自分の書いた字と診断のサンプル字を見比べて、真剣そのものでした。親子で、楽しい時間を過ごすことができました。



筆

筆

筆

筆

筆

橋本地区 ★橋本こどもまつり

昨年度同様、今年度も青少年部員が実行委員となり「橋本こどもまつり」が開催されました。

3つの学校から集まった1年生～6年生 その数なんと242名！ 4部制に分け(1部40分)完全入れ替え制として子どもたちに楽しんでもらいました。

ちょうどコロナが落ち着いている時期でしたが、マスク着用、消毒の徹底、密にならないようにと対策を取りながらの開催でした。

毎年恒例の「おばけやしき」は怖いから入らないと言う子が昨年は多かったのですが今年は多少泣き声も聞こえましたが大盛況だったようです。



魚釣り

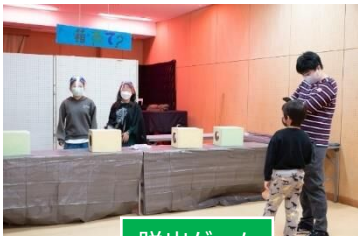


おばけやしき



こどもまつり

小山地区 ★活気あふれるメルヘンランド



脱出ゲーム



工作



海賊王



ゲーム



徐々にコロナ前に戻りつつある日常。大勢の人々が集まる行事やイベントではまだ制限はあるが、昨年より緩和されている。

メルヘンランドは「こどものためのこどものおまつり」もちろん内容を考えるのも子どもたち。実行委員会では久しぶりの活気あふれる話し合いに盛り上がりました。

脱出ゲームでは、箱の中身は何でしょう？や間違い探し。なかでも力を入れたのがホラーコーナー。大人でも怖がる仕上がりに子どもたちのパワーを感じる。

相変わらず人気の工作コーナー。毛糸を使ったツリーや折り紙で指輪を作れたり、親子で楽しめる。ゲームコーナーではペットボトルを倒すボウリングと魚釣り。

人数制限を守りながらも賑やかな館内に笑顔がたくさん。メルヘンランドでした。

大沢地区 ★いまなにをやっているの？

今年度のトピックは、何といっても 10 月の『こどもまつり』を開催できたこと。子ども実行委員会を一旦取りやめ、ジュニアリーダー・シニアリーダーが企画。午前・午後 2 部制の事前申込制として開催！217 人の来館で大いに賑わいました。

50 回を超える歴史を刻んできた 6 月の『わんぱく相撲』は、様々な課題を検討するため『ミニ運動会』に、12 月の『マラソン大会』は、東京パラリンピックの陸上女子マラソン視覚障害クラスで金メダルを獲得した道下美里選手の前半の伴走者を務めた、市職員の青山由佳さんによる講演会に形を変えて行いました。

また、夏休み期間に実施している『さわっ子！夏休みクラブ』では、青少指メンバーの伝手で招いたカナダ人の先生による『EnglishCamp』を開催。小学生対象で Hop・Step・Jump レベル別（学年はバラバラ）で定員 1 クラス 10 人。「クラスの中では英語しか使っちゃだめよ。」と、かなり本格的な内容となったようです。

子どもたちのためになにができるか。AFTER コロナの事業の在り方や実施方法を検討し、事業が中止となったときにも子どもたちに「楽しみ」と「交流の場」を提供できるように、定員 15 ～30 人程度のイベントを用意しようとしています。



清新地区 ★コロナ禍以前とは行きませんが…

2022 年度は少しずつ事業を開催する事ができる様になり、子どもデーとレクランドを MIX した新たな事業にも挑戦しました。

例年では小・中学生の運営委員を募集しますが、今回は青少年部員と JL のみで準備をし、参加する子どもたちも事前予約制にしました。当日は班別に行動し、時間ごとに各コーナー入れ替え制にしたところ密になることもなく、スムーズに進行できました。以前のような模擬店や飲食ブースがある形での開催はまだもう少し先になりそうですが、次回の子どもデーは小学生の運営委員と一緒に開催する予定です。



いよいよスタート

新事業に挑戦！



ストラックアウト



もぐらたたき

中央地区 ★やっと活動出来たよ！

コロナ禍も 3 年目となる令和 4 年度は、やっと子どもたちとふれあう活動ができるようになりました。人数制限等の対策をしながら、8 月・9 月・10 月と恒例の科学教室を 3 回も実施できました。また、富士見小学校の PTA 行事「FUJI ワイワイまつり」にも「割箸でっぼう」で参加、170 名もの子どもたちが製作しました。

公民館では、各部の行事等を 11/19~26 の 1 週間に集約する形の「中央地区っていいなフェア」が実施され、祝日の 23 日は子どもたち向けの「みんなで楽しむ催し DAY」に協力しプラバンを作成しました。あいにくの雨でしたが、混み過ぎず親子での参加が多く、ほんわかとした感じの事業となりました。



科学教室「バランスのふしぎ」



「FUJI ワイワイまつり」「割箸でっぼう」



「みんなで楽しむ催し DAY」「プラバン」

横山地区 ★クリスマス会

横山地区では、例年「遊びの教室」を開催していましたが、コロナ禍により昨年度は一度も開催することが出来ませんでした。

今年も開催を諦めようと思いましたが、参加人数を制限することで会議室が使えるようになりました。そこで太田さんの提案により、12 月にクリスマス会を開催する事を決定しました。募集方法として、学校・子どもセンター・児童館にチラシを配付する事にしました。1000 枚のチラシを作成し、配付するのは初めての経験です。配付してから、訂正箇所が見つかって回収することが出来ません。そこで 3 段階のチェック（校正）をしました。



クリスマス会での工作



配付したチラシ

①地区のメンバーによるチェック ②公民館担当者によるチェック ③横山小学校副校長先生によるチェックです。

校正箇所は、字の大きさ、漢字にフリガナを付ける、電話番号の訂正、保護者への説明など、自分では気付かない事を指摘してもらい、皆さんのおかげで、見栄えの良いチラシが出来ました。

12 月 18 日、当日は朝から快晴。欠席の連絡は、1 人でした。横山小学校は学級閉鎖があるのに、19 人もの子どもたちが参加してくれたのには、ビックリしました。子どもたちが沢山集まってきたので、早目に受付を開始しました。

①工作 ②クイズ ③ビンゴゲーム大会

と会は進み、楽しい半日でした。素敵なお笑い、ありがとうございました。

大野北地区 ★令和4年度 コロナ禍での奮闘の1年

◆6月5日 - 「ゆめ教室①」かんたん消しゴムはんこ -

消しゴムはんこ用の消しゴムを、ナイフではなく“ようじ”で削ってはんこを作りました。作ったはんこを布バッグに押しつけて作品づくり。



かんたん消しゴムはんこ



ゆめっ子ひろば

◆9月11日 - 「ゆめっ子ひろば」 -

7月から全5回のクルーミーティングの成果を発表するひろば。ゲーム、工作、お化け屋敷、お店(パン、飲み物販売)の4コーナーを一方通行方式で開催。もちろん館内放送も子どもたち。コロナ禍で集まった子どもたち(クルー)はわずか10名。今回、青少指7名、青学大の学生5名、応援に青少指OB、スポーツ推進委員にもお手伝いいただきました。

◆11月26日 - 大野北公民館に青少指のクリスマスツリーを設置 -

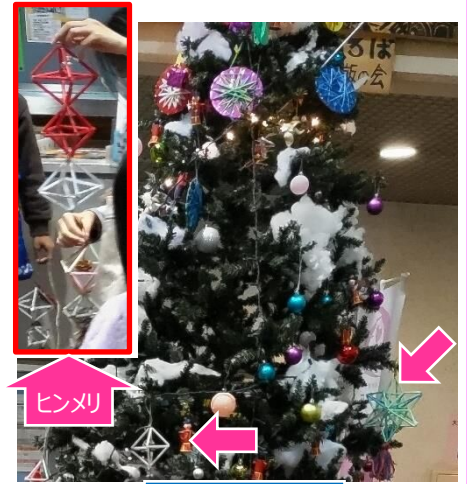
今までの「ゆめ教室」での作品などもツリーに飾り付けています。

◆12月4日 - 「ゆめ教室②」北欧のかざりヒンメリをつくろう -

ストローに糸を通して多面体のかざりをつくる。小学2~6年生対象。
“ひもを結ぶ”“かた結び”、ができない子どもたちが何と多いことか。

◆今後の予定

2月19日「ゆめ教室③」(料理)、3月28日「ゆめ教室④」(社会見学)



ヒンメリ

クリスマスツリー

星が丘地区 ★ドローン体験とお泊まり体験

長引く新型コロナの影響で、活動を自粛せざるを得なくなってから約2年半。この間、次回こそはと、何度も企画を立てては、感染拡大による中止の憂き目を見てきました。

そして今年度は地子連と協力して、コロナ禍でも少しずつチャレンジを始めましたので、その中から2つ紹介します。

一つはドローン体験です。

最近なにかと話題になるドローンですが、実際に操縦した人は少ないのではないでしょうか。子どもたちも初めての体験にワクワクです。やってみると、思い通りに飛ばすのは意外に難しいのですが、それも経験です。みんな真剣に挑戦していました。

もう一つはお泊まり体験です。

災害を想定して、小学校の体育館に宿泊する体験を行いました。

お楽しみの要素も加えるため、大きな段ボールで「自分が寝るところは自分で作る！」をモットーに各自が製作をしました。そして、個性的なシェルター? が完成! でも夜は興奮してなかなか寝付けませんでした。



ドローン体験



ドローン体験



お泊まり体験



お泊まり体験

光が丘地区 ★こんなことやりました

◆いろいろ頑張ってこんなにイベントが開催できました

6/12 ポッチャにチャレンジ

6/19 ポッチャ講習会

7/26 ワクワク実験教室(ビー玉を使った動くおもちゃ作り等)

7/27 夏休み体験教室(ヒップホップダンス)

7/28 バス社会見学(ロマンスカーミュージアム)

8/ 3 夏休み体験教室(子ども料理教室)

8/ 7 夏休み体験教室(公民館であそんじゃおう)(工作、モルック、映写会)

10/2~11/27 ジュニアリーダー養成研修(光が丘と陽光台合同)

11/3 市民健康まつり(ラジオ体操、体力測定 等)

11/6 ポッチャ講習会(ポッチャの体験)

12/4 こどもまつり(こども未来ワールドと合同開催) 牛乳パックを使った手裏剣作り、モルック

1/21 親子で見る星空観望会(冬の星座について講義と観望)16 名が参加



ジュニアリーダー養成研修



こどもまつり(モルック)



こどもまつり(手裏剣作り)



星空観望会 1



星空観望会 2

陽光台地区 ★子どもフェスタ開催

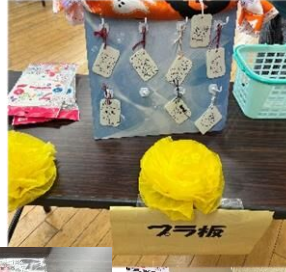
陽光台子どもフェスタが 10 月 30 日(日)に陽光台公民館にて開催されました。

企画運営は全て子どもたちで行うこのフェスタ。

カボチャの小物入れ・ミサンガ編み・緑が丘中科学部の実験・アイロンビーズ・ステンドグラス・プラ板名札作りが開催されました。

どのコーナーも行列が出来る程の盛況で、家族の方々もこれ程の賑わいとは思わなかったと、驚いていました。

昼までの短い催しでしたが、子どもたちには楽しみがいっぱいの時間でした。



上溝地区 ★カローリング

今や冬期オリンピックの華、カーリングは氷の上にストーンを滑らせほうきで掃いたりして、知らないと滑稽にも思える競技ですが、実際にやってみると頭や身体を使う、とてもハードで面白いチームワークのいる競技です。

これを室内で気軽に体験できるのが「カローリング」です。室内でするのでストーンの裏には「ローラー（車輪）」が3個付いていて（ですから「カローリング」と命名したようです）床を滑らせます。

レク協会の指導者を招き、ルール説明や競技方法を教えていただき、実際に子どもたちとやってみると難しく、遠くへ行ったり、短かったり外にはずしたりと苦労しましたが、相手のストーンを弾き飛ばした痛快さは、氷上のカーリングそのものでした。

子どもたちからも「楽しかったよ！」「またやりたい！」などの声が上がりました。楽しいスポーツ体験ができました。



オリジナルクリスマスツリーを作ろう



カローリング



田名地区 ★今、なにやっているの？

コロナに気を付けながら過ごすようになって早3年。ほとんど活動が出来なかった期間を経て、ようやく少しずつ動けるようになってきました。

緑豊かな田名地区では夏にホタルが飛びます。子どもたちに地元の素晴らしさに触れてもらえるよう、ホタルのことを知ってもらう企画をしました。

まず5月に『ホタル勉強会』を実施し、みんなでホタルの生態を学びました。夏のホタル観察会は悪天候のため中止となりましたが、来たる夏にまたたくさんのホタルに会えるよう、2月にホタル発生場所の清掃を予定しています。

前後しますが、11月には『田名散策』を行いました。公民館を出発し、用水路を完成させた久兵衛さんや万平穴についてなど、講師の方の話を聞きながら、10キロを踏破。子どもたちは最後まで笑顔で頑張って歩いていました。

12月には『わくわくチャレンジ Day』を実施しました。飛行機飛ばし、輪投げ、けん玉などの遊びに次々挑戦します。付き添いで来てくれたお父さん・お母さんも一緒にケンケンパ！笑顔がこぼれました。

1月は室内運動。多くの子どもたちが来てくれて、活気あふれる大会議室でした。リピーターもとても多く、みんな『楽しかった！』と帰ってくれました。

今後はますます活発に活動出来るよう期待します！



室内運動①



室内運動②



室内運動③

新磯地区 ★今、こんなことやっています

～「新磯らしさ」「季節感のある」「親子で参加できる」のテーマで子どもの笑顔を見ることをやろう！～



6月大好きな家族へのプレゼントをつくろう



7月七夕かざりをつくろう



7月わくわくぼうけん教室



11月縄文人になりきり！弓矢と火おこし



12月クリスマスパーティー



12月親子で凧づくり教室

子どもまつり



11月にジュニアリーダー・OB・OGと青少年部員との情報交換会もおこないました。

麻溝地区 ★今、なにやっているの？

●麻溝小学校 PTAまつり

「麻溝ジュニアリーダーを探せ！」麻溝小学校の校庭にいる、ジュニア・シニアリーダーのバッヂを付けた人を見つけて、合言葉を唱えてスタンプを集めます。スタンプを全部集めると素敵な「光る石」をプレゼント。色々に光る石があり迷っていました。PTAまつり参加は200名を超え、ジュニア・シニアリーダー活動のPRに貢献できました。

●クリスマス会(ジュニアリーダーとプラバンを作ってあそぼう)

ジュニア・シニアリーダー紹介。その後、指折り、グーパー、じゃんけんゲーム、世界一周じゃんけん、ハイドンで参加者の気持ちが和らぎました。

プラバン作りは、子どもたちが持参した下絵や、ジュニア・シニアリーダーが事前に用意していた下絵をもとに絵を描きました。プラバン作成した後にモールなどで飾り付けをして、素敵な作品ができ、持ち帰りました。



プラバン作り



プラバン作り



PTAまつり

相武台地区 ★みんなでウキウキ！！ やっぱりいいね～♪

コロナ禍のなか、どのように活動できるかを模索しながら、早3年。

今現在、すべて事業が実施できたことに喜びを感じている私たち(^^)♪。

何より、事業に参加した子どもたちから「楽しかったよ♪」とか「また、(来年も開催されるなら)参加したい！！」と笑顔で声をもらえるって本当に素敵で私たちのパワーにもなりますよね。



どこまで積める？
牛乳パック DE ツムツム



わーい(^^)♪
新緑の中、走ろう～



難しい！！
テント組み立て



相模原かるた、GET だけ！
お正月あそび

当たり前前にできていたころと比べると、まだまだ大きな声で「わーい!(^^)!!」とまでの活動は難しいですが、新たな形式も取り入れながら事業ができたと思います。



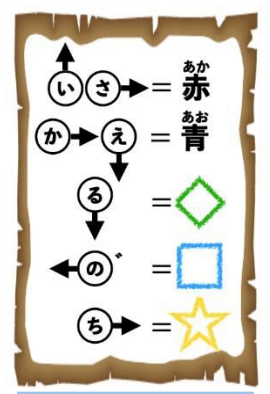
相模台地区 ★はじめの一步

新型コロナ感染拡大予防のため、催し物は中止されてきましたが、今年度は少しずつ公民館イベントが開催され始めた相模台地区です。しかし、『館内での飲食は禁止』『密を避けるための部屋ごとの人数規制』等、感染対策を優先しての計画は必至であり、試行錯誤の準備でした。まずは、夏休みに参加人数を減らし、飲食が伴わない小さなイベント(工作)の開催を準備していました。しかし、いざ募集開始になったところで第7波！！感染者数が激増という事態になり、申込にきた方に延期のお知らせをするという残念なことになってしまいました。

この教訓も踏まえ、3年ぶりの一大イベント「子どもまつり」の準備に入りました。ステージ部門も含めて、**密にならない・接触をできるだけ避ける配慮**をし、沢山の想定ルールを考えた結果、例年人気の「模擬店」「お化け屋敷」「ゲーム」を、子どもたちに人気の「謎解き」イベントに切り替えるという新しい試みをすることにしました。子どもスタッフの募集、ポスターの作成 等々、例年とは違う内容に苦労は多く、その都度相談を重ねての準備。いよいよ本番！という日に地区内で学年閉鎖！！残念ながら子どもスタッフ数人とサポートの保護者が参加不可能という事態になってしまいましたが、なんとか本番を終え、久々のイベント開催ができました。これからの課題も出て『新型コロナ共生 はじめの一步』を踏み出すことができたと思います。



看板は1文字ずつ子どもたちが書き貼り合わせ、記念手形で飾りました



子どもたちが考えた謎の1例です。クリアできますか？

第27回 さかみだい子どもまつり

12/4(日) 2022

10時～14時 (受付開始 9時30分)

ステージ部門 11時～12時 謎と音部門 12時～13時 体験部門 13時～14時

※新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、イベントの一部変更や中止となる場合もあります

案内のチラシも、感染に注意する部分も、対外的な説明も、形になってしまいました



謎のとき部屋はテーマごとにクリアするミッションが出題考題する部屋もありました

大野台地区 ★3年ぶりの「子どもまつり」です

みなさんこんにちは！ 大野台地区です。3年ぶりに「子どもまつり」が戻ってきました～♪

11月27日(日) 大野台公民館にて、いつもとはちょっとちがう「大野台公民館 子どもまつり」を開催しました。

午前中は「ポッチャ&パークゴルフ体験教室」と「手作り創作体験教室」に分かれて実施。

午後はチェロ奏者のにらさわゆう 荻澤有さんをお迎えして「子どもコンサート」を開催しました。



ポッチャ



パークゴルフ



子どもコンサート

ポッチャは初めて体験する子もいて、最初は狙ったところにボールを投げられませんでした。だんだん慣れてきて大人も顔負けです。

パークゴルフは大野台公民館を周回する難易度の超高い「パー3の4ホール」を2ラウンド。合計パー24の「迷門？」コースです。

手作り創作体験教室では「びゅんびゅん駒」「風車」「コップけん玉」の創作と「紙やり投げ」をして楽しみました。

事前申し込みによる参加で、子どもたちは元気に楽しく取り組んでいました。

大沼地区 ★再会・再開・^{サイ}31回 子どもまつり

毎年行われていた子どもまつりが、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止となり、今回3年ぶりに開催することができました。

31回目ということで、スローガンは再会・再開・31回と称して行われました。例年のように子どもスタッフの募集をすると、10数名のやりたいという強い気持ちの子どもスタッフが集まりました。今までとは規模も縮小して行うことで、人数制限や80名の参加者が密にならないよう、午前・午後の4グループに分け、時間制限の入れ替え制とし、魚釣りや的当てなど遊び中心にしました。

例年やっていた人気のお化け屋敷は、換気や密を避けられないということで、それに代わるコーナーとして、今回ドリームハウスを考えました。子どもたちに夢と感動を与えたいということで、アンダーザシー・風船の世界・光の世界とそれぞれ夢の世界を表現しました。お化け屋敷とは180度真逆の発想のドリームハウスは、思っていた以上の反響があり、コロナ禍ならではの発想の転換の手応えを感じました。

また、今回新しい試みとして、各コーナーを回することでポイントをゲットするポイント制を導入したことで、子どもたちの楽しみプラス意欲的に取り組んで遊ぶ姿を見ることができ、3年ぶりの子どもまつりが活気溢れるものになり、大成功となりました。



風船の世界



アンダーザシー

大野中地区 ★子どもまつり「わくわく縁日」

11月6日(日)3年ぶりに子どもまつりを開催した。いつもは大野中公民館で開催するのだが、まだコロナ禍であるため、屋内を避け、大野小学校の校庭を使って実施した。

実施においては人数制限をして2部制にして行った。飲食はできないためゲーム主体の内容で、屋台の縁日をイメージし、校庭内にテントをそれぞれ立ててお店を出した。お店の内容は、『わくわく縁日』をテーマに、スーパーボールすくい、ストラックアウト、ピンポンカップイン、お菓子作り、空気砲での的当て、それにシャボン玉コーナー。

お店の運営は子どもたちで行い、大人はそのサポートに回った。従来のかたちとはかなり異なった実施ではあったものの、これはこれで面白いと感じた。

当日は天気も良く、お店を運営する子どもたちも、お客さんの子どもたちも、声を上げて久々の子どもまつりを楽しんでいるようであった。

また、事前のお店準備作業では、子どもたちが皆で協力して生き活きと動いていたのが印象に残った。



シャボン玉



ピンポンカップイン



お菓子作り



スーパーボールすくい



空気砲での的当て



ストラックアウト

上鶴間地区 ★7つの事業

令和4年度は7事業を実施することができました。

7月17日(土)陶芸教室で取っ手付きカップ、二つ目は9月25日(日)カボチャのランタン、三つ目は10月30日(日)子どもまつり、今年のお店は4チームで工作・ゲーム、予約制ながら人を入れての開催でした。

四つ目は昨年と同じ自然観察を11月20日(日)境川沿いを歩いて自然に触れました。五つ目は12月18日(日)季節の工作で正月飾りを作りました。六つ目は年明けの1月22日(日)車椅子バスケット、実際に車椅子に乗り、試合を体験しました。

七つ目は2月19日(日)に電車で海老名にあるロマンスカーミュージアムに行きました。

子どもまつりは昨年アイデアを出してくれたチームが参加しました。参加してくれた子どもたちはどの事業も楽しかったと言ってくれました。

来年度もいろいろな発想でこれからも子どもたちと一緒に楽しんで活動をしていきたいと思えます。



陶芸教室 ろくろを使って



車椅子バスケット



大野南地区 ★今、こんなことやっています

この2～3年間、新型コロナウイルス感染防止のため、子どもたちを集めての活動を中止する公民館が多くあるという話を聞いていますが、私たち大野南公民館はコロナに負けてはいません。コロナ禍で子ども向けの活動が制約される中、ここで公民館までが活動を中止しては子どもたちが可哀想。

そこで、私たち青少年指導委員は公民館と対応を検討した結果、予防を徹底すれば、活動は可能であるという結論に至りました。まずは、「会場の換気」、「検温」、「マスクの着用」、「手指の消毒」を完璧に実行し、今期は下記の行事を実施しました。感染者は一人も出ませんでした。

6月18日 ジャがいも掘り体験

6月25日 七夕飾りと読み聞かせ

7月30日 セミの羽化観察教室(麻溝公園)

8月6日 プチ子どもまつり(お化け屋敷、割り箸鉄砲、手品、昆虫館、スライム、スーパーボールすくい)

8月20日 ペットボトルロケット飛ばし

10月29日 子ども料理教室(相模原の郷土料理)

11月12日 境川自然観察

12月4日/10日 ランタン作り(2回実施)

1月29日 親子でボトルシップ作り

今後も感染予防に注意しながら、コロナに負けることなく、子どもたちのために楽しい活動を推進していきます。



ペットボトルロケット飛ばし



手作りの割り箸鉄砲

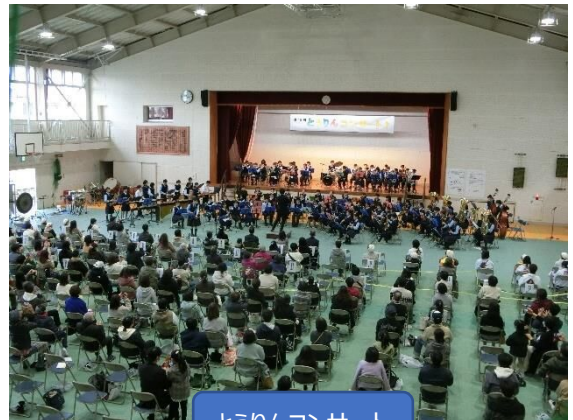
東林地区 ★子どもたちに楽しんでもらえる企画を

前年度も行事内容を変更・縮小しながら、皆さんの笑顔に触れる事が出来ました。

なかでもグルーガンを使用した「クリスマスツリー作り」は定員の4倍を超える応募を頂いて困惑しましたが、当選した子どもたちには事故もなく大盛況でした。

また、地区中学校の吹奏楽部による「とりんコンサート」も観客数を制限して開催することができ、生徒さんの生演奏で地域の皆さんに楽しんでもらえました。

今年度も子どもたちに楽しんでもらえる企画を、地区青少年指導委員全員で考えていきます。



とりんコンサート



クリスマスグルーガン



クリスマス作品



ゲームラリー大会

津久井地区 ★今、なにやっているの？

コロナ襲来により、これまで毎年度恒例的に参加させていただいていた事業のすべてが取り止めに余儀なくされていたが、本年度よりようやく事業が漸次再開しつつある。

津久井地区連絡協議会として伝統的に受け継いでいる工作「森のえんぴつ作り」については、他団体の管理運営事業や地区公民館事業において、市内外の多くの子もたちに自然木の枝で「オリジナルなえんぴつ作り」を楽しんでいただいている。

さらに、地区公民館事業「公民館で遊んじゃおう！」では、これまで体験したことがない競技「ポッチャ」について、そのルール等を学びつつ、子どもたちと一緒に挑戦した。「ポッチャ」は誰でも楽しめ、ルールや戦術を会得すればさらに面白さが増す競技で、今後、事業に取り入れてみたいと考えている。

事業再開に伴い、沢山の子もたちの笑顔に触れることができ、その喜びとやり甲斐を改めて強く感じているところである。



大盛況!! 182名参加。
公民館での「森のえんぴつ作り」

「ポッチャ」楽しく初体験!

自然素材を活用した名前入りの「森のえんぴつ」

「ポッチャ」真剣にルールを学ぶ子どもたち

城山地区 ★久しぶりのふれあい事業

城山地区では青少年指導委員の半数が地区の事業を経験していない中、やっと秋に2事業を実施することができました。

◆10月30日(日)「ふれあい動物村&工作教室」

はじめて室内で実施するため、感染対策として時間と人数を制限して予約制としましたが、申し込み開始日に定員に達する程の反響がありました。

当日は、目を輝かせながら動物とかかわる子や、恐る恐るさわる子どもたち。工作の輪ゴム鉄砲では的を倒そうと夢中で輪ゴムを飛ばしている姿が見られました。そして、指導委員自身もとても楽しみました。



さわっても大丈夫だよ



今度は当てるぞ!



◆11月27日(日)「ふれあい工作」

親子でクリスマスリースと、高さが15cm近くもある大王松の松ぼっくりを使ったツリーを作りました。

大人の出番がないほど子どもたちは集中して作っていて、それぞれ個性あふれる素晴らしいクリスマスリースとツリーが出来上がりました。



できましたー!

相模湖地区 ★今期の活動記録です

相模湖地区は、公民館の青少年部の事業に協力し、公民館との共済事業で協力しながら、子どもたちが興味を持ち、且つ楽しく遊べ・学べるかということを探索しながら活動しています

今年度もコロナ禍で思うような活動は難しかったですが、主な活動を以下に記載します

<1>

自然エネルギーを使ったお楽しみ体験

- ◆2022年8月17日
- ◆参加者小学生9名



<2>

わくわくサマースクール
「映画(虹色ほたる)&花火」

- ◆2022年8月21日
- ◆参加者小学生9名



<3>

おもしろサイエンス実験室
「よく飛ぶゴム動力
ヘリコプターを作ろう」

- ◆2022年12月18日
- ◆参加者30名(親子)



藤野地区 ★来年こそは！

7月に公民館事業のサマースクールが佐野川地区で行われました。

竹を材料におわんとおはし・カブトムシを作り、昼食後はグループに分かれ、わくわくスライダーや、ウォークラリーをして楽しい時間を過ごしました。

これからもコロナと共存し、感染対策をしながら、今年度以上に子どもたちが楽しい時間を過ごせるよう、地域の皆さんと連携していければと思います。



サマースクール



サマースクール



竹細工の様子



竹で作った、おわんとおはし・カブトムシ



10月29日

子どもの遊び場事業

～橋本公園～

緑区役所のとなりの橋本公園、この日はとってもいい天気！
 コロナ禍で開催が延び延びになっていた「子どもの遊び場事業」が開催されました。
 この事業は民間企業とタイアップして、大型遊具を持ち込み、遊んでもらうというもの。
 青少指は会場でのサポートと並行して魚釣りゲームも企画して会場を盛り上げました。
 当日は好天のなか、子どもたちはいろいろな遊具を体験して楽しんでいました。
 魚釣りゲームも大盛況でしたよ！
 それでは、当日の雰囲気写真を写真で味わってください。



準備の様子



朝から頑張りました！

サイバーホイール



楽しい～♪

エアトラック



気持ちいいなあ♡

ブロックモジュール



バランスが難しいよ～！



魚釣りゲーム



Jump! ジャンプ!

イマジネーションブロック



何が出来るかな？



たくさん釣れるかな🐟

10月10日

スポーツフェスティバル ～ギオンスタジアム～

10月10日(月)に第17回さがみはらスポーツフェスティバルが相模原ギオンスタジアムで4年ぶりに開催されました。前日午後からの雨が収まりきれず、小雨が降ったりやんだりの少し肌寒い中での実施となりました。

不安定な天気のため、相模原市の雨天実施問い合わせに電話をし、「予定通り実施」と告げられて会場向かった青少指の方も多かったのではないかと思います。

会場では、新型コロナウイルスの影響により会場内での飲食禁止、飲食店の出店もありませんでした。

青少指のブースは、本部席向かいのスタジアムエリア内に設置され、青いウィンドブレーカーの集団はスタジアムに入ってすぐに目に入り、迷うことなく合流できました。

9時30分から本部席前で開会式が行われ、続いて準備体操とラジオ体操を実施、朝礼台で前屈するインストラクターを横目に、多くの青少指は硬くなった体をほぐしました。

10時から本番開始。青少指のブースではテント前に2カ所設置された伝統のバンブーダンス体験を実施しました。今回、集まったメンバーは3分の2がバンブー初体験といった比率でしたが、今回はチーム分けやローテーションは決めず、無理せず適宜入れ替わりながら実施する形で進めていきました。

各自、バンブーの操作、ステップの指導、通りかかった方を勧誘、周りでの盛り上げなど臨機応変に対応し、最初はまばらだった来客も徐々に増えていき、一時期は待ち行列もできるほど、子どもも大人も楽しみました。本村市長や菅谷南区長も参加してくれ、皆の声援を浴びていましたよ♪。

初めて体験した子どもがその楽しさを知り何度も列に並んだり、雨宿りの最中に練習する親子連れがいたり、未就学の子どもから「できるようになったの」と話しかけられたり、青少指ならではの心が洗われる体験をした1日でした。



11月13日

親子ふれあいの広場 ～横山公園～

3年ぶりの開催となった親子ふれあいの広場は、恒例の淵野辺公園ではなく、「ねんりんピックかながわ2022」に合わせて横山公園で11月13日(日)に開催されました。

集合の挨拶では徹底した消毒をするように指示があり、その後は各備し物の準備を始めました。今回、青少指からは、創作コーナー、魚釣り、ビンゴゲーム、そしてコロナ禍以降初めてコーヒーコーナーを出店しました。

10時から鼓笛パレードが始まり、開会式後に各ブースを開店、すぐに待ち行列ができる盛況ぶりでした。

今回の創作コーナーは「くるくるビーズ」。丸いバネ状に作った針金にビーズを通し、くるくる回りながら降りてくるのを楽しむ遊び道具です。

伝統の魚釣りは、1回6名、2分間で実施しました。感染予防に配慮し、いつもは釣った魚を全員でカウントしながら、釣り堀にみたてたブルーシートに返していましたが、今回は一匹ずつ手元の魚籠に入れ、それを回収し消毒してから釣り堀に戻しました。また、竿も毎回アルコール消毒を実施しました。参加者は、大勢で実施する楽しさや釣った魚の数の記録を出したい子どもたちが何度も並んで挑戦して終了直前まで列がとぎれることがありませんでした。

ステージでは午後から子どもを対象に青少指によるビンゴが開催され、多くの子どもや家族連れが参加しました。

多くの子どもが参加する中、進行役の見事な読みで準備された景品をぎりぎりまでプレゼントすることができました。

この日は、午後から雨の予報が出ていたため天候が懸念されていましたが、午後からは曇りで最後まで雨に降られることもなく、気温も下がらず比較的過ごしやすい1日になりました。その結果、魚釣り、くるくるビーズの参加者が、ともに400名を超える、久しぶりの大きなイベントとなりました。



第 53 回神奈川県青少年指導員大会 開催！ ～県立保健福祉大学講堂～

11 月 27 日(日)快晴の中、第 53 回神奈川県青少年指導員大会が 3 年ぶりに横須賀で開催されました。コロナが終息しない中、人数制限を行った上、初の試みとして、ネット配信も行われました。

オープニングは、地元横須賀市の消防団音楽隊による演奏です。真っ赤な制服と、演目の「そり滑り」などがクリスマスを連想させ、楽しい雰囲気盛り上げました。

次に、県連絡協議会の会長でもある市丸会長や来賓のあいさつに続いて、「神奈川県青少年指導員連絡協議会表彰」に移りました。今回は 86 名の方々が対象となり、市丸会長から、代表者 7 名の方に感謝状が手渡されました。本市からは 3 名の方が表彰され、齊藤広報部長が代表して感謝状を受け取りました。

その後、三浦市と葉山町から活動報告が行われました。



中高生との懇談会



三浦市は、50 名の青少年指導員が 3 地区で活動しています。海水浴場などの地域パトロールや、市民祭りでのフリーマーケットの出店、地域の子どもたちを招いたうどん作り。また、毎年 2 月には、中高生との懇談会を実施し、中高生の悩みを聞いたり、アドバイスをするなどの活動をしています。更には、他地区の指導員との交流活動として、県内各地区を訪問しています。

葉山町では、15 名の青少年指導員が活動しています。里山の大切さを体験するための掘り、海の大切さを知ってもらう潮干狩りと稚魚放流に参加しています。それぞれ、小学校低学年と高学年のグループに分けて、毎年交互に体験してもらっています。

他に、大きな事業として、毎年、御殿場でのジュニアキャンプを行っています。毎年 80 名近くの参加がある人気の事業で、かつて参加した子どもたちがジュニアリーダーとして、スタンプやキャンプファイヤー、カレーづくりなどに青少年指導員とともに、指導者として活躍しています。

また、小学校の社会見学の際に同行し、見守り活動を行うなど、学校との連携も行っています。

それぞれに地域の特性を生かした個性があり、本市とは違った活動をされており、大変参考になる内容でした。

【小学校 校外学習の協力】 小学校の 6 年生 鎌倉見学



最後は、たかのてるこさんの講演です。長澤まさみ主演の映画「ガンジス河でバタフライ」の著者といえば、ご存じの方もいるかもしれません。どんな人かと思ったら、いきなり、超ハイテンションの大阪弁のおばちゃん登場という始まりで、度肝を抜かれました。「誰とでも仲良くなれる」をモットーに、世界 70 か国を大阪弁とジェスチャーだけで旅してまわり、そこで得た経験や思いを、著書や講演などを通じて、発信しています。

たかのさんが旅で得たことの一つは、日本人はネガティブ思考に陥りやすく、「今」を生きていないということです。また、日本人は、他人に迷惑をかけることを気にしすぎて、窮屈な人生を送っている、と感じているそうです。人はみんな誰かのお世話になって生きている。だったら、困ったときは、遠慮せずに周りに助けを求めよう、それは人に迷惑をかけることではない。そして、困っている人を見たら、お互いさまで助けてあげよう、それでみんなが幸せになれると説きます。

そのためには、自分を思い切り愛することが大切で、それが他人を大切にすることにつながる。

そして、私たち青少年指導員には、日本社会の悪いところを押し付けず、子どもたちにエールを送る活動をしてほしいと話されました。

2022 年度表彰受賞者紹介 > 受賞された皆様おめでとうございます <

■相模原市市政功勞表彰（2022 年 11 月 20 日 市制記念日）

市民もしくは市に関係のある個人または団体で、市の公共福祉の増進および教育文化の向上に尽力された方、または市の公益に関し、とくに業績が顕著であったと認められた方を対象に表彰します。

>>受賞者<< 阿部和夫さん(新磯)、有園教史さん(橋本)、岡野博さん(中央)

■神奈川県青少年育成活動推進者表彰（2023 年 2 月）神奈川県立音楽堂

県内の青少年の健全育成に熱意をもってあたり、その業績が特に顕著な個人に対し、神奈川県青少年問題協議会会長が感謝の意を表し、表彰します。

>>受賞者<< 岡野博さん(中央)、佐伯行弘さん(光が丘)、安田京子さん(陽光台)、大野幸子さん(東林)、若林幸恵さん(相模湖)、吉田勝文さん(上溝)、鈴木敏夫さん(津久井)

■神奈川県青少年指導員表彰（2022 年 11 月 27 日・青少年指導員大会）横須賀

青少年指導員活動において顕かに功績が認められる者に対し、神奈川県青少年指導員連絡協議会が感謝の意を表彰します。相模原地域からは、八木郁夫さん(藤野)、石井明美さん(星が丘)、齋藤一城さん(大野中)の 3 名が表彰されました。

はたちのつどい着付け直し

2023 年 1 月 9 日

杜のホールはしもと・相模原市民会館・グリーンホール

今年の「はたちのつどい」において、現役青少年指導委員をはじめ計 7 名が、各会場に参加した新成人の着付け直しを行いました。この事業は、青少年指導員連絡協議会が受託しており、本市に住む若者の新たな門出を祝い、支える役割を果たしています。

参加した、麻溝地区中島純子さんよりコメントが届いています。

「毎年楽しみなのは、中学生の時に一緒に活動した子たちが、私を見つくと挨拶に来てくれること。あの腕白坊主が、恥ずかしがり屋さんが・・・感無量、青少指冥利に尽きます。ここに集う全ての若者に心からエールを送ります。」



行政からのお知らせ：青少年指導委員の所管課である、こども若者支援課青少年支援班が 4 月より組織改編に伴い、青少年学習センターと合体し、執務室も本庁から青少年学習センターに移転します。どうぞよろしくお願ひします。
新住所：中央区矢部新町 3-15(横浜線矢部駅 徒歩 5 分) 電話:042-751-0091 FAX:042-751-0092

連絡協議会・市行事の主な予定

◆総会	2023 年 4 月 17 日(月)	総合学習センター
◆市民若葉まつりチビッツ広場	2023 年 5 月 13 日(土)・14 日(日)	相模原市役所前広場周辺

■はげいとう 第 66 号 編集スタッフ・編集後記(広報南グループ)

広報部長	齊藤 一城(大野中)	こどもの遊び場、スポフェス、親ふれ、指導員大会・・・と久しぶりに事業報告を載せることができました！
副部長	安藤 和代(新磯)	みんなに助けられ活動しています。これからも元気な明るい話題を届けたいです *Ü*
書記	岡本 育久(上鶴間)	対面での部会再開に始まり、新しい形の情報発信の取り組みなど、激動の一年でした。
部員	林 富一(光が丘)	コロナと共に三年目を迎え、頑張って活動をしています。
	横堀 淳一(陽光台)	初めての取材撮影、まだまだです。もっと良い写真が撮れたかった 😊。次の機会には最高の笑顔を Get するぞ！
	佐藤 文雄(麻溝)	コロナ禍で活動自粛が続くなか、唯一緑区会場の子どもの遊び場事業に参画が出来有意義だった。
	川島 梨乃(相武台)	慣れないことだらけでしたが、得るものもたくさん的一年でした。
	小関 晴代(相模台)	初めての青少指で右も左もわからず広報部会の先輩方に教えて頂き、1 年頑張ることができました。
	橋口 壽恵弘(東林)	初めての編集で戸惑いましたが、これからも頑張ります。
	大塚 寿子(大野南)	広報部はとても居心地のよい所、私のようなスキルのない者でも楽しく活動できました。
	末澤 秀雄(大野台)	メンバーの総力で作り上げた第 66 号です。おつかれさまでした。
	永田 哲久(大沼)	初めての広報部ですが、取材を担当したイベントが記事になって嬉しく思います。



「はげいとう」次号発行予定

☆第 67 号は 2023 年 9 月発行予定です。

★はげいとうは、相模原市の
ホームページから見る您可以通过。
「相模原市 はげいとう」で 🔍 検索
⇒QR コード

